

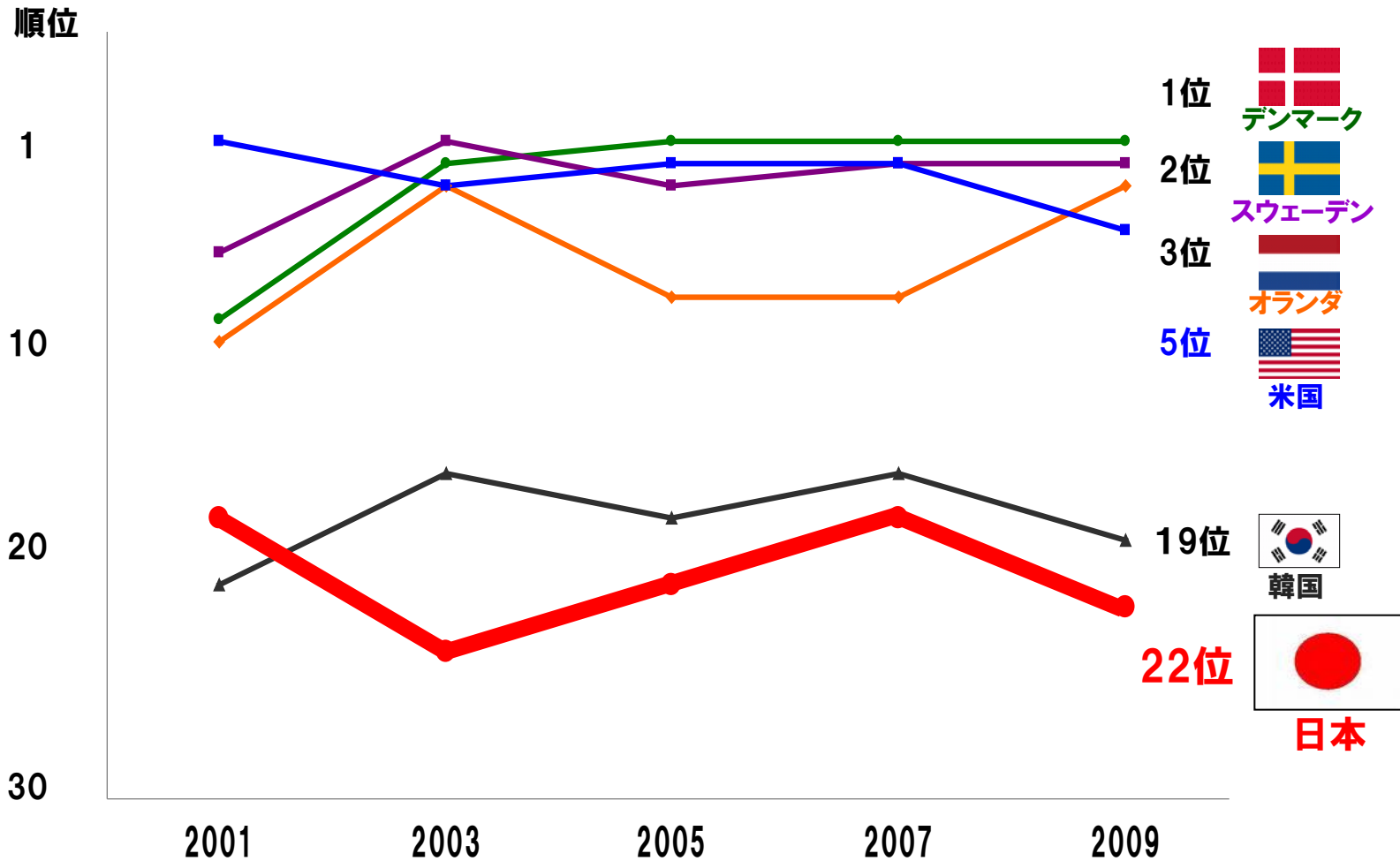
グローバル時代における ICT政策に関するタスクフォース 合同ヒアリング資料



平成21年12月10日
ソフトバンク株式会社

**ICTを成長エンジンとして
日本の競争力を取り戻すために
国民にとってどうあるべきか
という視点が重要**

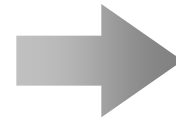
日本のICT競争力は低迷



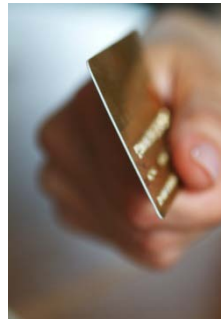
日本市場 = ガラパゴス



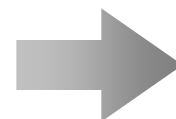
携帯電話



海外市場で**苦戦**



非接触
ICカード



日本独自仕様が
障害

⋮

⋮

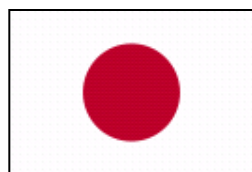
独自仕様に固執し、国際競争力を喪失

1993

1997

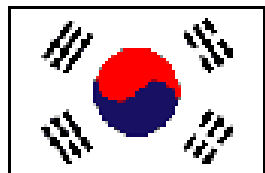
2001

失われた10年



PDC方式（日本独自仕様）

3G



GSM端末の輸出

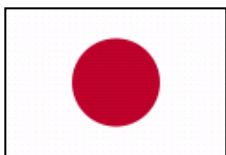
独自仕様に固執し ブロードバンド普及を遅らせた

1996

2000



DSL普及拡大



ISDN（日本独自仕様）

ADSL

4年の遅れ

国際競争力とは

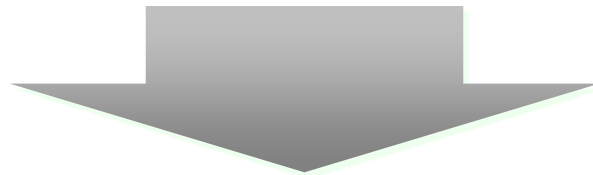
インフラ・サービスの競争力

×

製品・アプリの競争力

×

人的競争力



国際競争力

世界をリードするインフラ・サービスの提供



世界から日本へ

(世界の人・企業・情報を日本に)

グローバルスタンダードの製品・アプリの開発



日本から世界へ

(日本製品の海外への輸出)

世界で戦える人材が必要

- ICTを使いこなせる人材
- 技術力＋企画力＋発想力を有する人材
- 国際社会に通用する人材

ICT教育が必要

通信事業者に求められる役割

世界をリードするインフラ・サービスの提供

世界一の
ネットワーク構築



安価、高品質、
安心安全

国際標準の
ネットワーク構築



ベンダーの
海外進出支援

デジタルデバイド解消



普及率100%

タスクフォースの 議論について

- ① 「インフラ整備は十分、課題は利活用」？
デジタルデバイドについてはどう解決するのか？
- ② 「国際競争力強化のためには
国内競争で疲弊している場合ではない」？
「NTTを日本代表として擁護せよ」という議論か？

**① インフラ整備は十分
課題は利活用？**

順位	国旗	国名	普及率
1位		韓国	86%
2位		オランダ	80%
3位		デンマーク	75%
4位		香港	72%
5位		カナダ	69%

⋮

11位		イギリス	63%
12位		フィンランド	62%
13位		台湾	61%
14位		アメリカ	60%
15位		ベルギー	58%
16位		日本	57%



**日本の
普及率は
不十分**

さらにブロードバンド整備推進中

アメリカ



Recovery Act
Broadband
Initiatives

オーストラリア



National
Broadband
Network

ニュージーランド



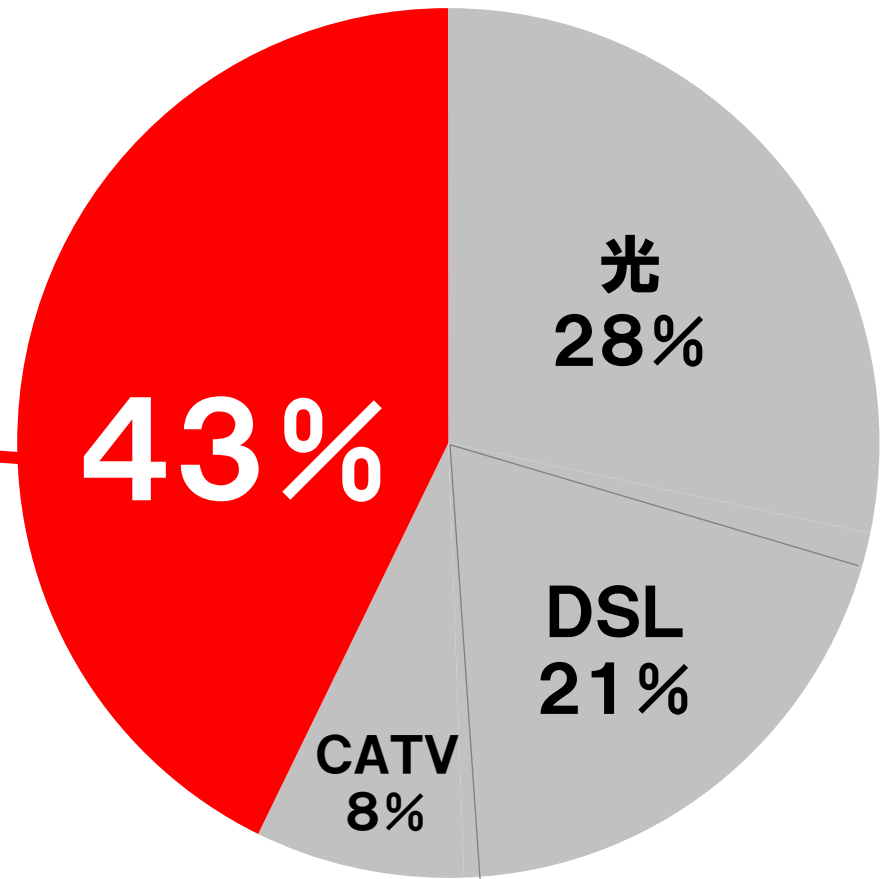
Ultra-fast
Broadband
Investment
Initiative

シンガポール



Next Gen
NBN

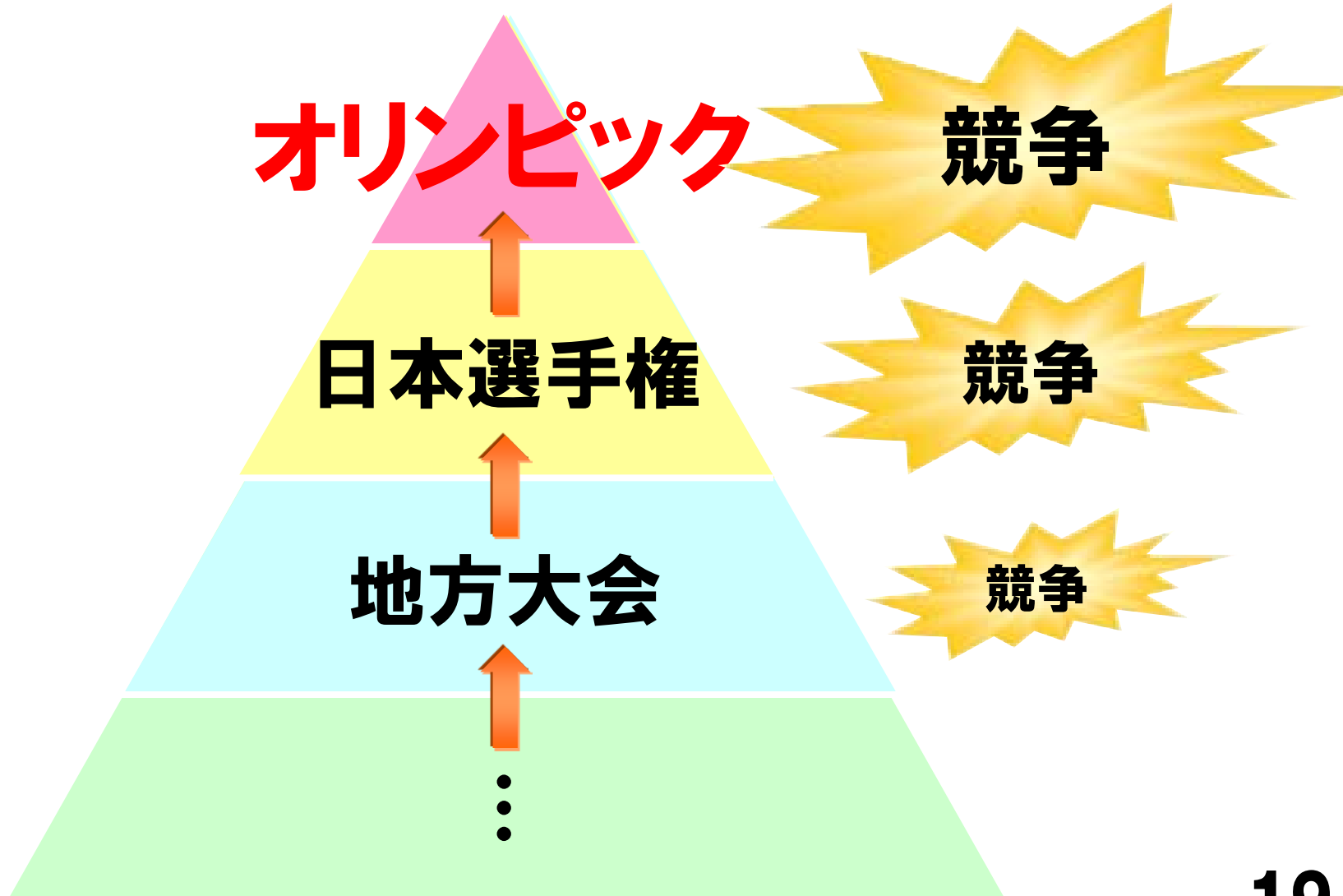
**ブロードバンド
未利用世帯
2300万**



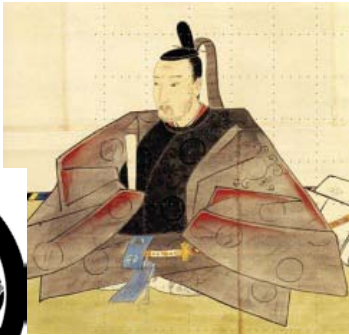
普及率100%実現が急務

**②国際競争力強化のためには
国内競争で疲弊している
場合ではない？**

国内競争なくして世界とは戦えない



幕末



? VS



21世紀



NTT ? VS



**保護
政策**

VS

**競争
政策**

(競争心の喪失)

(競争力の向上)

公正競争環境には程遠い

グループドミナンス



ドミナント間の連携禁止

指定電気通信設備制度



厳格な禁止行為規制

光分岐接続



1分岐単位接続

固定接続料



算定方法の抜本的見直し

名義NG問題



名義確認の廃止

MNP



流動性向上(メール転送等)

周波数政策



事業者間格差の是正

ローミング・設備共用



義務化等のルール整備

⋮

⋮

ICTが日本を牽引するために

- **公正競争環境を完全実現**
- **ブロードバンド普及率
100%を目指す**